

【担当教員】

伊藤 敦美

【教員室または連絡先】

物質・材料 経営情報 1号棟509室

【授業目的および達成目標】

[授業目的]

社会情勢の種々の変化に伴い、教員免許法の改正など、現代の学校教育をめぐる動きは激しく、且つ諸々の課題が山積している。こうした中で、学校教育における教師の資質向上が喫緊の課題となっている。この授業では、教職の意義・目的、学校・教員の役割、児童・生徒・地域等への対応の在り方、教員の資質、必要な諸能力、職務の内容などを理解することを目的とする。教師としての指導力育成によって、本学の「教育目的 7」「指導的な役割を果たすことができる技術者」の育成をも図る。

[達成目標]

- (1) 日本における今日の学校教育や教職の社会的意義を理解する
- (2) 教育の動向を踏まえ、今日の教員に求められる役割や資質能力を理解する
- (3) 教員の職務内容の全体像や教員に課せられる服務上・身分上の義務を理解する
- (4) 校内の教職員や外部の人材と連携・分担し、チームとして諸問題に対応する重要性を理解する

【授業キーワード】

教職の意義、教員の役割・資質能力・職務内容、チームとしての学校

【授業内容および授業方法】

[授業内容]

現代の学校教育をめぐる動きは激しく、教職の重要性は高まっている。この授業では教職の意義、教員の役割・資質能力・職務内容等を取り上げる。また、教職への意欲を高めることや、教職の適性を判断し、進路選択に資する教職の在り方を理解するための講義や議論等を行う。

[授業方法]

講義形式とするが討議形式も併用する。

【授業項目】

- 第1回 公教育の目的と教員の存在意義
- 第2回 子どもの生活と、社会・家庭・学校
- 第3回 教職の職業的特徴
- 第4回 教員の養成と採用
- 第5回 教職観の変遷と今日の教員に求められる役割
- 第6回 今日の教員に求められる基礎的な資質能力
- 第7回 教員の職務内容の全体像
- 第8回 学習指導の意義と役割
- 第9回 学習指導の原理と方法
- 第10回 学習指導の過程と評価
- 第11回 生徒指導の意義と指導原理
- 第12回 生徒指導とキャリア教育
- 第13回 学校経営と学級経営
- 第14回 教員の服務上・身分上の義務及び身分保障（研修、服務、身分保障）
- 第15回 チーム学校運営：校内の教職員及び外部の専門家との連携・分担
- 第16回 期末試験

【授業時間外学習（予習・復習等）】

学習効果を上げるため、教科書等の該当箇所を参照し、授業内容に関する予習を90分程度行い、授業内容に関する復習を90分程度行うことが望ましい。

【教科書】

岩崎保之編著「教育・保育の基礎を学ぶ」国際文献社、2018年。

【参考書】

吉田 辰雄・大森 正編著「教職入門」 図書文化社、2016年。
伊藤一雄・山本芳孝・池上徹「教職基礎論」サンライズ出版、2014年。
大村はま「教えるということ」 共文社、1973年。
その他、随時プリントを配布する。

【成績の評価方法と評価項目】

学習理解の確認（テスト）60%、講義中の課題・レポート30%、授業への取組（授業中の発言や態度）10%により評価する。
試験の実施時期については授業で周知する。講義内容全般についての理解度を確認する。試験の際の資料等の持ち込みは不可とする。授業への取組は、授業中の態度、授業中の発言、欠席状況等を総合的に評価する。

【留意事項】

講義中、折に触れて教職課程のガイダンスも行います。
教員免許状取得希望者はできる限り受講してください。
第1回目の授業から教科書を使用しますので準備をお願いします。

【参照ホームページ名】

平成29・30・31年改訂学習指導要領（本文、解説）

【参照ホームページアドレス】

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/1384661.htm

【備考】

特になし。

【ディプロマポリシーとの対応】

- 【】 1. 理数の技法と技術科学の見方
理数とデータサイエンスの概念・技法の習得、及び社会を支える様々な技術の科学的理解。
- 【】 2. 思考力・表現力と社会的視野
理解・思考・表現・対話の基礎である言語・論理力の習得、及び技術と社会、安全、環境との関わりの理解。
- 【】 3. 専門の基礎力
技術科学各分野の専門の基礎知識と技能、及び情報技術を使いこなす能力の習得。
- 【】 4. コミュニケーションと協働の力
英語による技術コミュニケーション基礎力、及び国際感覚を持ちチームで協働できる能力の習得。